

平成22年度
補正予算の概要

(H23. 3月議決分)

1 一般会計 歳入歳出予算総括表(H23.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 市税	15,316,602	△ 24,434	15,292,168
2 地方譲与税	358,000		358,000
3 利子割交付金	64,000	△ 12,407	51,593
4 配当割交付金	16,000		16,000
5 株式等譲渡所得割交付金	23,000	△ 13,500	9,500
6 地方消費税交付金	842,000		842,000
7 ゴルフ場利用税交付金	69,000		69,000
8 自動車取得税交付金	81,000		81,000
9 地方特例交付金	175,332		175,332
10 地方交付税	3,784,215	87,803	3,872,018
11 交通安全対策特別交付金	21,000		21,000
12 分担金及び負担金	417,400		417,400
13 使用料及び手数料	242,771	△ 1,700	241,071
14 国庫支出金	3,863,643	△ 89,963	3,773,680
15 県支出金	1,651,146	△ 20,993	1,630,153
16 財産収入	148,837		148,837
17 寄附金	509	474	983
18 繰入金	42,307	△ 2,118	40,189
19 繰越金	764,104		764,104
20 諸収入	2,004,862	△ 28,877	1,975,985
21 市債	4,742,400	△ 343,000	4,399,400
計	34,628,128	△ 448,715	34,179,413

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 議会費	270,572	△ 1,644	268,928
2 総務費	5,968,201	118,414	6,086,615
3 民生費	10,102,490	△ 37,386	10,065,104
4 衛生費	1,585,500	7,049	1,592,549
5 農林水産業費	386,930	14,849	401,779
6 商工費	415,422	△ 11,329	404,093
7 土木費	5,003,740	△ 66,782	4,936,958
8 消防費	1,764,113	7,448	1,771,561
9 教育費	4,345,520	△ 479,334	3,866,186
10 災害復旧費	5		5
11 公債費	3,897,479		3,897,479
12 諸支出金	858,156		858,156
13 予備費	30,000		30,000
計	34,628,128	△ 448,715	34,179,413

補正予算のポイント

今回の一般会計補正予算は、第1回定例議会(H23年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ4億4871万5千円を減額し、予算総額を341億7941万3千円としました。

今回の補正で減額となる大きな要因が2つあります。1つ目は、永山小学校校舎改築事業について、入札が終了し事業費が確定したため減額になるとともに、国の交付金の申請年度もH23年度となることから、H23年度当初予算への組み替えにより、約8億2000万円の減額となります。2つ目は、子ども手当について、支給対象者が減少したため、約1億2000万円の減額となります。この2つの事業で約9億4000万円の減となりますが、歳出の事業費分としての追加補正額約4億9000万円を差し引くと約4億5000万円の減額補正となっております。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

●国の「円高・デフレのための緊急総合経済対策」・・・4億4564万2千円増

国の第一次補正予算(H22年11月26日成立)において、「円高・デフレのための緊急総合経済対策」として、地域活性化交付金(きめ細かな交付金・住民生活に光をそそぐ交付金)や学校施設の耐震化等の推進事業の前倒しがあり、これらを活用した事業をH23年度に繰り越して実施します。

[内訳]

- ・きめ細かな交付金事業 6750万円
- ・住民生活に光をそそぐ交付金事業 1670万円
- ・学校施設の耐震化等の推進事業(取手東中) 3億6144万2千円

※きめ細かな交付金事業、住民生活に光をそそぐ交付金の事業内容は下記の一覧表をご覧ください。

●国民健康保険事業特別会計繰出金・・・9460万2千円増(国保年金課)

国民健康保険特別会計において、9460万2千円増の繰出をしますが、そのうち国保加入者の負担が過重にならないように配慮し、一般会計繰入金を5026万3千円を増額し、当初予算の5000万円と合わせ総額1億26万3千円の支援を行います。

●子ども手当・・・1億2064万円減(子育て支援課)

当初、子ども手当対象児童数を、H22年1月1日現在の住民基本台帳人口より13088人と見込んでいましたが、支払い実績見込みとの乖離があり、対象者が928人減の12160人となる見込みにより、減額となります。

●予防接種委託料・・・1774万7千円増(保健センター)

国のH22年度緊急経済対策として実施される、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業を導入し、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種にかかる委託料を増額します。

●永山小学校改築事業・・・8億2727万5千円減(教育総務課)

H22年度当初予算において、永山小学校校舎及び給食室の改築工事(2期分)を計上しましたが、入札が終了し事業費が確定したために減額になるとともに、国の交付金の申請年度も H23年度となることから、H23年度当初予算への組替えをするために減額を行います。あわせて、継続費の補正も行います。

【歳入】

●市たばこ税・・・2443万4千円減(課税課)

たばこ税の値上げによる影響で、消費量の減少により減収が見込まれるために、減額します。

●利子割交付金・・・1240万7千円減(財政課)

●株式譲渡所得割交付金・・・1350万円減(財政課)

●地方交付税・・・8780万3千円増(財政課)

H22年度普通交付税の再算定が行われたことにより、交付額が変更となったために、増額を行います。

●国庫支出金・・・8996万3千円減

国の緊急総合経済対策による、きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金、学校施設の耐震化等の推進事業等で増額します。また永山小学校の校舎改築事業に伴う安全安心な学校づくり交付金、子ども手当負担金等については減額となります。

●県支出金・・・2099万3千円減

保険基盤安定負担金等が増額します。子ども手当負担金、児童福祉費補助金等が減額となります。

●(仮称)下高井近隣公園整備促進費・・・2700万円減(水とみどりの課)

近隣公園整備の H22 年度事業費の縮減にともない UR との負担協定に基づき減額します。

●市債・・・3億4300万円減(財政課)

地方債充当事業の事業費確定により、地方債を減額します。

今回の補正予算も含めて、限られた財源を有効に活用し、だれもが暮らしやすいまちづくりのために役立てていきます。

きめ細かな交付金充当事業一覧表

(単位:千円)

No	課名	事業名	内容	事業費		交付金 充当額	事業概要
1	管財課	取手市役所庁舎改修事業	本庁舎北側の外面建具及び換気口雨よけ設置工事	3,690	3,690	2,000	本庁舎北側ペントハウス部分の換気口や窓の建具の経年劣化に伴う雨漏りにより、壁の剥がれやクラックが発生している為、工事を行う。
2	高齢福祉課	老人福祉センター修繕事業	あけぼの 男子浴室壁内部給湯管修繕	580	1,340	700	老人福祉センターあけぼのの男子浴室壁内部の給湯管が漏水している為、修繕する。
			あけぼの 給湯加圧ポンプ修繕	760			老人福祉センターあけぼのの給湯加圧ポンプが経年劣化により不具合が生じている為、修繕する。
3	子育て支援課	保育所修繕事業	戸頭東保育所修繕	2,000	2,500	1,300	戸頭東保育所の門扉及びテラスの修繕を行う。
			白山保育所修繕	500			白山保育所の非常階段及びバルコニーの鉄骨部分の塗装修繕を行う。
4	保健センター	保健センター改修事業	外壁の改修工事	14,000	14,350	9,352	取手保健センターの外壁の塗装及び破損部の工事を行う。
			電気設備絶縁体修繕	350			藤代保健センターの建物からキュービクルまでの配線のうち、地盤沈下による断線部分について修繕を行う。
5	排水対策課	樋管管理橋修繕事業	樋管管理橋塗装修繕	590	590	300	市内4樋管(添・古戸・新町・中谷津)の管理橋について塗装修繕を行う。
6	排水対策課	排水路維持管理事業	排水路の汚泥の浚渫・清掃	9,000	12,000	6,600	小林住宅及び八丁橋等の排水路については、汚泥の堆積により排水能力が低下しており、降雨時の冠水被害が報告されている為、汚泥の浚渫・清掃を行い、本来の排水能力を回復し安全性の確保に努める。
			調整池の汚泥の浚渫・清掃	3,000			新取手、井野及び駒場調整池は、降雨時の雨水を一時的に貯留し流出量を調整しながら雨水幹線に放流しているが、汚泥の堆積により貯留能力が低下している為、汚泥の浚渫・清掃を行い、近隣の安全性の確保に努める。
7	水とみどりの課	公園整備事業	各公園改修及び遊具等の設置	2,000	8,300	4,600	稲ちびっ子広場ブランコ設置、とがしら公園小便器水洗改修、桐木児童公園スプリング遊具設置、公園下水道接続工事を実施し、老朽化した公園施設の改修及び遊具の設置を行う。
			公園維持管理の塵芥車の購入	6,300			平成元年登録の塵芥車を使用していたが、故障により使用できない為、新たに車両を購入する。
8	教育総務課	小中学校修繕事業	稲小学校の倉庫解体工事	4,000	6,280	3,300	稲小学校にある倉庫が白山西小学校から移設後28年が経過し、経年劣化が著しく危険な為、解体する。
	学務給食課		小学校食室の洗面器を混合水栓交換	1,500			寺原小・井野小・白山西小の給食室の水栓を混合水栓に交換する。
			吉田小の給食室内換気扇フードの塗装	280			吉田小学校の給食室内の換気扇フードの塗装修繕を行う。
			中学校給食室混合水栓交換	500			戸頭中学校の給食室の水栓を混合水栓に交換する。
9	スポーツ生涯学習課	子どもクラブ施設改修事業	子どもクラブ室前にフェンスの設置工事 戸頭東小の防犯灯設置工事	1,030	1,030	500	吉田小子どもクラブ室前に段差がある為、フェンスの設置工事を行う。 戸頭東小学校の子どもクラブ利用者の駐車場の防犯灯の設置工事を行う。

(単位:千円)

No	課名	事業名	内容	事業費		交付金 充当額	事業概要
10	スポーツ 生涯 学習課	スポーツセン ター施設修繕 事業	体育館のトップライトの 雨漏修繕	2,020	7,440	4,000	藤代スポーツセンター体育館のトップライトから雨漏りがある為、雨漏修繕を行う。
			野球場スコアボードの 塗装修繕	1,730			藤代スポーツセンター野球場のスコアボード棟が、塗装剥がれや錆により劣化が著しい為、塗装修繕を行う。
			野球場バックスクリー ンの塗装修繕	1,420			藤代スポーツセンター野球場のバックスクリーンの塗装の劣化が著しい為、塗装修繕を行う。
			野球場・多目的グラウ ンドの散水用ポンプ制 御盤の修繕	1,900			藤代スポーツセンターの野球場・多目的グラウンドの散水用ポンプ制御盤が故障している為、修繕を行う。
			剣道場・弓道場床修繕	370			藤代武道場の剣道場・弓道場の床修繕を行う。
11	公民館	公民館修繕改 修事業	相馬南公民館の洋式 トイレ修繕	280	2,480	1,300	相馬南公民館の男女トイレ各1基を、和式から洋式に変更することにより、利用者の利便性を高める。
			高須公民館エアコン工 事	2,200			高須公民館の冷房設備が経年劣化により故障してしまった為、各部屋ごとに管理できるエアコンを新たに設置する。
12	消防本部 総務課	消防施設改修 事業	吉田・榎木消防署受電 施設修繕	1,600	7,500	4,100	高圧受電設備は、設置後30年以上が経過し、部品等の劣化により施設機能に支障をきたす恐れがある為、施設を更新する。
			宮和田出張所訓練棟 撤去工事	4,000			訓練施設を統合した事により、使用しなくなった当該施設の撤去を行う。
	消防本部 警防課		火の見やぐら撤去工事	1,900			第5分団(S31)及び第25分団(S50)の火の見やぐらが、経年劣化している為、解体撤去する。
合 計				67,500	67,500	38,052	

住民生活に光をそそぐ交付金充当事業一覧表

(単位:千円)

No	課名	事業名	内容	事業費	交付金 充当額	事業概要
1	図書館	図書館 資料購入に 要する経費	図書購入費	4,000	4,000	取手・ふじしろ図書館の図書の充実を図る。
2	学務給食課	小学校教育 設備及び 教材費に 要する経費	図書購入費	9,500	9,400	小学校の図書の充実を図る。 @44,400×214学級≒9,500,000
3	学務給食課	中学校教育 設備及び 教材費に 要する経費	図書購入費	3,200	3,200	中学校の図書の充実を図る。 @35,600×90学級≒3,200,000
合 計				16,700	16,600	

2 取手駅西口都市整備事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H23.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 使用料及び手数料	306		306
2 国庫支出金	26,820		26,820
3 繰入金	358,439	△ 910	357,529
4 繰越金	13,246		13,246
5 諸収入	1,510	△ 61	1,449
6 市債	165,700	△ 2,600	163,100
計	566,021	△ 3,571	562,450

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 事業費	379,139	△ 3,571	375,568
2 公債費	186,382		186,382
3 予備費	500		500
計	566,021	△ 3,571	562,450

補正予算のポイント

今回の取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(H23年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ357万1千円を減額し、予算総額を5億6245万円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 取手駅北土地区画整理事業…357万1千円減(区画整理課)
補償費算定業務委託料や電線共同溝工事など入札が終了し、事業費が確定したため減額します。
また、H23年度予定している造成・整地詳細設計業務委託料1297万4千円を増額します。

【歳入】

- 市債…260万円減(区画整理課)
地方債充当事業の事業費確定により、地方債を減額します。

3 国民健康保険事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H23.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 国民健康保険税	3,405,195		3,405,195
2 使用料及び手数料	1,100		1,100
3 国庫支出金	2,402,888	△ 59,400	2,343,488
4 療養給付費等交付金	591,157		591,157
5 前期高齢者交付金	3,027,981		3,027,981
6 県支出金	399,399	△ 7,166	392,233
7 共同事業交付金	1,125,850	△ 8,633	1,117,217
8 財産収入	3		3
9 繰入金	694,297	94,602	788,899
10 繰越金	2		2
11 諸収入	13,444		13,444
計	11,661,316	19,403	11,680,719

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	284,270		284,270
2 保険給付費	7,975,753	40,530	8,016,283
3 後期高齢者支援金等	1,388,999		1,388,999
4 前期高齢者納付金等	3,489	△ 1,078	2,411
5 老人保健拠出金	24,090	△ 2,920	21,170
6 介護納付金	560,150		560,150
7 共同事業拠出金	1,125,860	△ 3,604	1,122,256
8 保健事業費	131,933	△ 14,305	117,628
9 基金積立金	1		1
10 公債費	1,110		1,110
11 諸支出金	98,661	780	99,441
12 予備費	20,000		20,000
13 前年度繰上充用金	47,000		47,000
計	11,661,316	19,403	11,680,719

補正予算のポイント

今回の国民健康保険事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成23年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ1940万3千円を増額し、予算総額を116億8071万9千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 療養給付費・・・3953万円増(国保年金課)
一般保険者療養給付費の増によります。
- 高額医療費共同事業拠出金・・・1817万円増(国保年金課)
高額医療費共同事業拠出金支出見込額の増額分を計上します。
- 保険財政共同安定化事業拠出金・・・2177万4千円減(国保年金課)
保険財政共同安定化事業拠出金支出見込額の減額分を計上します。
- 特定健康診査業務委託料・・・1503万6千円減(国保年金課)
特定健康検査の受信者数が減少したために減額します。

【歳入】

●国庫負担金…6040万円減(国保年金課)

療養給付費等負担金5323万4千円の減、高額医療費共同事業負担金422万5千円の減、特定健康審査等負担金294万1千円の減額となります。

●一般会計繰入金…9460万2千円増(国保年金課)

保険基盤安定繰入金4433万9千円を増額と、国保加入者の負担が過重にならないように配慮し、一般会計繰入金を5026万3千円増額し、当初予算と合わせ総額で1億26万3千円を繰入します。

4 後期高齢者医療特別会計 歳入歳出予算総括表(H23.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 後期高齢者医療保険料	645,902	21,337	667,239
2 使用料及び手数料	100		100
3 繰入金	877,707	△ 10,812	866,895
4 諸収入	1,622	476	2,098
5 繰越金	12,173		12,173
計	1,537,504	11,001	1,548,505

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	127,382	△ 3,506	123,876
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,398,361	14,031	1,412,392
3 諸支出金	11,661	476	12,137
4 予備費	100		100
計	1,537,504	11,001	1,548,505

補正予算のポイント

今回の後期高齢者医療特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成23年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ1100万1千円を増額し、予算総額を15億4850万5千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 後期高齢者医療広域連合納付金・・・1403万1千円増(国保年金課)
市町村が徴収した後期高齢者医療保険料を広域連合に納付する納付金が2133万7千円増額となります。また医療給付費市町村負担金概算額決定により、730万6千円減額します。

【歳入】

- 後期高齢者医療保険料・・・2133万7千円増(国保年金課)
特別徴収分が4217万9千円の減額、普通徴収分が6351万6千円の増額となります。
- 一般会計繰入金・・・1081万2千円減(国保年金課)
後期高齢者医療広域連合会への負担金の減額、検診事業や人間ドック検診事業の受診者数の減により、一般会計繰入金を減額します。

5 介護保険特別会計 歳入歳出予算総括表(H23.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 介護保険料	1,185,131	△ 42,906	1,142,225
2 使用料及び手数料	85		85
3 国庫支出金	912,236	△ 7,421	904,815
4 支払基金交付金	1,448,600	11,271	1,459,871
5 県支出金	709,241	6,404	715,645
6 財産収入	1,567		1,567
7 繰入金	776,170	68,265	844,435
8 繰越金	50,851		50,851
9 諸収入	86		86
計	5,083,967	35,613	5,119,580

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	147,749	△ 1,959	145,790
2 保険給付費	4,771,071	37,572	4,808,643
3 地域支援事業費	111,808		111,808
4 諸支出金	33,339		33,339
5 予備費	20000		20,000
計	5,083,967	35,613	5,119,580

補正予算のポイント

今回の介護保険特別会計補正予算は、第1回定例議会(H23年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ3561万3千円を増額し、予算総額を51億1958万円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 施設介護サービス給付費・・・2989万円増(高齢福祉課)
介護サービス利用者の増加により増額します。
- 居宅介護サービス計画給付費・・・313万円増(高齢福祉課)
在宅でサービスを利用している人のケアプラン作成料が増額となります。
- 特定入所者介護サービス費・・・427万6千円増(高齢福祉課)

【歳入】

- 介護保険料・・・4290万6千円減(高齢福祉課)
特別徴収保険料が8542万1千円減額、普通徴収保険料が4251万5千円増額となります。
- 支払基金交付金・・・1127万1千円増(高齢福祉課)
介護給付費の増額に伴い、支払基金からの交付金が増額となります。
- 基金繰入金・・・6389万9千円増(高齢福祉課)
介護保険料の減及び介護給付費の増加に伴う介護給付費準備基金からの繰入金の増額です。

6 競輪事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H23.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 入場料収入	5,949	△ 1,779	4,170
2 車券発売収入	1,600,000	△ 462,266	1,137,734
3 車券発売副収入	1		1
4 財産収入	120		120
5 繰越金	6,000	23,331	29,331
6 諸収入	45,676	15,207	60,883
計	1,657,746	△ 425,507	1,232,239

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 競輪事業費	1,633,129	△ 415,171	1,217,958
2 公債費	398	△ 336	62
3 諸支出金	20,000	△ 10,000	10,000
4 予備費	4,219		4,219
計	1,657,746	△ 425,507	1,232,239

補正予算のポイント

今回の競輪事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成23年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ4億2550万7千円を減額し、予算総額を12億3223万9千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 通常競輪事業・・・4億1017万1千円減(産業振興課)
車券発売収入の減収に伴い、的中車券払戻金が3億4880万5千円の減額となり、また売上額に対して支払う施設使用料や交付金も減となったため減額となります。

【歳入】

- 車券発売収入・・・4億6226万2千円減(産業振興課)
通常競輪6日間の車券購買額の減少により、車券発売収入を減額します。